

農協役員室で——ネズミ盗聴記

元農協学園長
秋田 義信



農協の役員室。オンベと油売りが居て、油売りが昔の津軽の大地主のことをオンベに訊き取っていた。オンベ「オメエから訊かれていたので、マジの図書館へ行って調べてきたよ」

と言つて、山本省一著「青森県農地改革史」（大正十三年現在）によつて地主の所有田を読み上げた。

市町村	氏名	所有田 (町歩)	小作人数 (人)
高杉	高杉金作	六五	一〇五
千松	高木純一郎	五八	一一〇
船高	高谷貞助	七二	一四〇
和徳	笹森栄	八〇	一五〇
田舎	佐藤源蔵	二二	二五〇
田舎	館田信	八三	一五〇
五郷	長谷川信太郎	七三	一六二
五郷	長谷川宗一	六三	一五三
黒石	加藤宇兵衛	一四	二五〇
黒石	鳴海文四郎	八五	一四五
浅瀬	石鳴海文四郎	九〇	一五六
中郷	対馬誼太郎	一三〇	二二〇
六郷	宇野清左衛門	一五七	二七五
竹館	相馬貞一	五〇	七五
尾上	西谷壽徳	六二	一五八
七和	阿部誠一郎	一〇四	一九八
七和	楠見芳幹	五二	五一

中里	古川市三郎	一八六	一四一
中里	井沼覚五郎	七二	九二
中里	大川丑之助	七七	一〇四
沿川	齊藤純吉	一一二	一四七
金木	津島文治	二一九	二九〇
五所川原	高橋弥左衛門	八〇	二二四
五所川原	佐々木嘉太郎	六〇九	八九四
五所川原	平山又三郎	三六五	四六八
五所川原	沢田長助	五六	八二
板柳	安田元吉	三三	五〇
板柳	安田繁造	九二	一五〇
板柳	安田〇造	九二	一一三
板柳	安田才助	二〇一	二八〇
板柳	安田久五郎	五〇	七九
板柳	青山浅次郎	五五	九八
内淵	佐々木健次郎	四一	六〇
中村	宮越正治	一〇五	二二八
中村	戸虎三郎	九五	二二〇
中村	戸才門日郎	五〇	九八
森田	原田藤次郎	二二三	三〇〇
森田	原田豊次	二〇二	一五〇
森田	佐藤四郎	五八	五〇
森田	小林ひろえ	五〇	六〇
柴田	石田ミチエ	六五	六〇
水元	洪谷文男	一四二	一六〇
館岡	長谷川一郎	一九九	二〇三
車力	鳴海周次郎	一七八	二〇〇
木造	高谷豊之助	二三八	一八〇
木造	高谷忠八	六〇	五〇
三小	倉田常吉	八四	六五

注1 金木町の津島文治は戦後の初代知事。斜陽館はその家。弟が太幸治。太幸が東京で青森から追いかけて行った小山初代と同棲していたとき、毎月120円送金。当時、小学校長の月給が65円。

注2 小作人とは、地主から農地を借りて耕作している農家のこと。これが戦後、マッカーサー司令部の命令により、全部、耕作者のものになった。いわゆる「農地改革」によつて。

注3 小作人が小作料を地主へ収量の約四割（南部地方は五割）を納める。本県最大の地主は五所川原の佐々木家（屋号 布家）、東北一の地主が酒田市の本間家（約六百町歩だったとか）。

